

私は、3週間の間、母校である中学校に教育実習に行かせていただきました。私の地元は田舎の方で、他の中学校と比べると荒れていて、県で一番荒れていると言われているような学校でした。

最初はとても不安だらけでした。生徒に相手にされないじゃないかなとかちゃんと授業ができるのかなど考えれば悪いことばかりが浮かんでくるようでした。3週間はとても長くていやだなと思っていました。しかし、3週間はあっという間でたくさんの生徒と接し、たくさんのことを学ばせていただきました。

一番難しいなと思ったのは、生徒との距離感です。先生と生徒という立場は、もちろん初めてだったので、頭では、こういうものという考えがあってもなかなか実践に移すことができませんでした。でも、私は、先生だけど実習生なので、周りの先生方のように、いきなり生徒になれなれしく話しかけるわけにもいかないと思い、最初はどのように接していいのかわかりませんでした。しかし、私は、体育の授業ということもあり、生徒とコミュニケーションをとる機会が多く、だんだんと自然にはなせるようになりました。生徒には、いろいろな生徒がいて、近づいてきてくれる子もいれば返事を返してくれない子もいました。生徒と接する差ができてしまって、そこは少し反省点であると思います。怒ったりすることはできず、クラス全員に徹底させたりすることはあまりできなかったけど、担当の教員の方に「学級委員のような感じで大丈夫ですよ」といわれて、学級委員長のように指示をしたり、注意することを心がけ、それは少しできたかなと思います。

教師として、指導したり、教えたりするなかで、一番大切だと思ったのはメリハリです。例えば、怒るときと話しているときの声の大きさはもちろん違うと思うし、授業中に大事なことをいうときは少し違う言い方をしてみたり、とそういうところでもメリハリをつけることで生徒へのメリハリにつながるようになりました。生徒が学校生活をおくるにあたって、メリハリというのはとても大切です。中学生は、切り替えやメリハリというのがあまりできずに、それを課題としていることが多くあります。自分たちではできないので、まず、先生が、そういうところから示してあげないといけないんだなと思いました。また、示していくにあたって、先生の影響力はとても大きく、こちらからすると、何気ないことでも、生徒の心の中には残ったりするので、気を付けてよく考えて行動しないといけないなと思いました。例えばですが、私が、朝の会で自分の経験したアルバイトについて話をしました。そのときは、いろいろなアルバイトの経験について話をしたのですが、その中で、ガソリンスタンドで働いた時の話を少ししました。私は、「ガソリンスタンドで働いていたときは、ガソリンのにおいがつくことがあったのでくさいと思うこともあったし、友達にいわれることもありました」という話をしました。すると、終わった後に担当の先生に「あれはちょっと気を付けた方がいいですよ。くさいと言われることがあるっていってしまうと子供たちは、ガソリンスタンドで働く人はくさいんだと思ってしまい、また、働くと友達にくさいと言われるから働きたくないと思うかもしれません。それに、もしかしたら、身近に働いているひとがいる子もいるかもしれません」という風にいわれました。私は何気なく言った言葉にそんな深いところまで考えなくてはいけなかったことに驚きましたし、難しいなと思いました。ちょっと話すひとつのことでも子供がへん

に考えてしまわないようにフォローを入れないといけないことがわかり、前で話すことの重大さと大変さを改めて実感しました。

研究授業では、道徳と体育の授業をやらせていただきました。やってみた感想は思った以上に大変でした。まずは、授業の構成を練るところからでしたが、先生方は考える以上に細かいところまで考えていて、私の考えは、とても甘かったことに気づかされました。授業をしてみて、自分が予想していた答えとは違う答えが生徒から返ってきたり予想もしていなかったことが授業中に起こってしまうととても焦ってしまいました。当たり前、生徒の考えがあるのに、こう答えるだろうと勝手に思い込んでいるところがありあたふたしてしまいました。でも、同時に、「あーそんな考え方もあるんだな」とおもしろいなとも思いました。終わってみてから、生徒が書いてくれた授業の感想を読むと、これも、それぞれ思っていることも感じていることも違って多く意見や自分の想像のつかないことも書かれてあり、面白いなと思いました。さらに、一番うれしかったことは、授業中に生徒が思った以上に発表してくれたり積極的に活動してくれたことです。生徒たちはそんなつもりはないかもしれませんが、私からしたら、とても助けてもらった感じでした。

今回の教育実習で、生徒のことはもちろんですが、教師という仕事についてもとても勉強になりました。生徒の動きや発言は、予測できず、何かが突然起こることもあります。そんな生徒に付き添う先生方は大変そうだしすごいなと思いました。先生方は、教えることはもちろんですが、授業の準備や、その他の雑務にも追われており、ずっと学校に残って仕事をしている方もたくさんいました。生徒の時にはわからなかった教師の大変さを実感しました。

3週間という短い実習でしたが、話や講義では学ぶことができないようなことをたくさん学ばせていただき、経験させていただきました。忙しい時期に実習を受け入れてくれた実習校や先生方にはとても感謝しております。この経験が、将来の自分に役立つといいなと思っています。また、反省点も多くあるので、実際の現場に着いたときに同じ反省をださないようには注意したいと思います。